踏み出す力

行動は気づきに変わる

発行者
武岡中学校生徒会本部
ブログはこちら↓

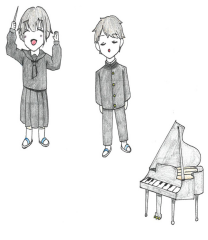
SDGsの視点を取り入れた生徒会活動の推進

タブレットで参加の意識高まる生徒総会

5月14日に生徒総会が行われました。今年度は、SDGsの目標の中で各専門部がどのような取り組みができるかを考えて、活動計画を立てました。ペーパーレス化を進めるため、総会資料は、一人に一台、貸し出されているタブレット型パソコンで配布しました。各教室と放送室をつないだリモート形式のため、決議をとる場面では、ロイロノートのアンケート機能を活用しました。議題の最後に総務・副総務の選出に関する規約改正の審議を行いました。これまでは、男女各一名から総務・副総務が選出されていましたが、集会時の整列や授業の号令といった仕事内容から考えると男女で区別する必要があるか、ないかが争点となりました。結果は、執行部の提案どおり、出席者の過半数を超える209名の承認を得て、改正案が可決されました。生徒会規約については、開校当初からある大切なもので、これまでの先輩方の考え方や思いが込められていると思いますが、全校生徒で話し合い、時代の変化に対応したものに変えていくことも大切だと感じました。今回の生徒総会を通して、皆さんの生徒会活動への関心がよりいっそう高まってくれることを期待しています。（生徒会副会長）

心を響かせ最高の思い出を

7月12日は待ちに待った音楽発表会です。今年は宝山ホールで開催されます。コロナ禍で様々な行事が規模を縮小されていましたが、「他の学年の歌も聞きたい」「家族にも見に来てほしい」などの意見から、宝山ホールで音楽発表会を行えるように先生方が計画してくださいました。1年生は中学校に入学してから初めての大舞台となり、2・3年生にとっても全校生徒で音楽発表会を開催するのは今年が初めてとなります。音楽の時間に合唱曲の練習が始まり、最初は、みんなの息が合わずに戸惑うこともあると思いますが、一番大切なことは、みんなが同じ方向を向いて協力しあうことです。音楽発表会の目標は金賞をとることだけではないと思います。良い成績を残すこと以上にクラスのきずなを深めたり、さらに音楽のことが好きなったりするなど、様々な経験をし、今年1年間を共に過ごす仲間とたちと大切な思い出を作りましょう。本番まで残り約一カ月です。素晴らしい音楽発表会となるように、みんなで練習に励みましょう。（文化部部長）



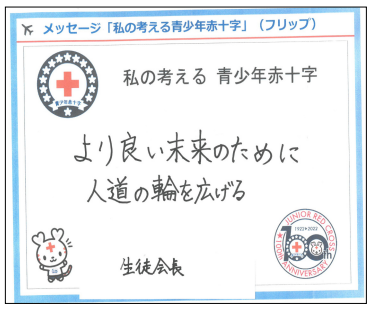
学問のススメ

もうすぐ期末テストがあります。一年生にとっては初めての期末テストですね。中学校の期末テストは小学校のテストとは違い、一回のテストの範囲が広く、勉強の内容が難しくなるため、教科書を読むだけでは、内容を覚えきることはできません。計画的に勉強することと、身につくまで繰り返し勉強することがとても重要です。

定期テスト5日前にはテスト勉強のために部活動が休みになります。しかし、この期間にテスト勉強を始めたのでは、範囲を全て復習することができません。テストの範囲表が配られたら、すぐに学習計画を立てましょう。計画どおりに学習ができないと、テストの前日に睡眠時間を削って勉強することになりかねません。記憶は寝ているときに定着すると言われます。テスト前には徹夜をせず、睡眠時間をしっかり確保し、体調も整えることも大切です。図書室には、勉強の仕方について役立つ本があります。この機会に自分にあった勉強法を見つけましょう。今月の学習部の目標は、「期末テストへの取り組みを充実させ、自分の課題を知ろう」です。テスト勉強の成果を発揮し、夏休みや2学期の学習につなげましょう。（学習部部長）

#JRC100th

青少年赤十字創設百周年オープニングイベントが5月5日（木）にインターネット配信で開催され、本部役員4人が参加しました。まず、はじめに赤十字の創設者アンリー・デュナンの紹介や日本の青少年赤十字の歴史をたどりました。青少年赤十字は、リーダーの育成を目的としたリーダーシップ・トレーニング・センターと呼ばれる研修を一九四八年から実施しています。第一回目の研修では人工呼吸法の講義が行われていたそうです。このプログラムは現在の研修でも扱われています。また、看護師の指導の下、正しい手洗いについても学習していた様子を見て、現在の感染症対策と通じるものがありました。



この他にも東日本大震災での赤十字の活動を基に、被災地支援の在り方や震災の様子をもっと様々な人に話していくことで後世に災害の怖さを伝えていくことができるということを学びました。私は、このイベントに参加し、昔も、今も、これから生きていく未来も、人と人とのつながりが自分だけではなく、社会をより良いものにするために必要なことなのだと思いました。（生徒会書記）

たけおかSDGs

16 平和と公正をすべての人に

生徒会本部では、ウクライナ危機で難民生活を余儀なくされている子どもたちのためにユニセフ・ウクライナ緊急募金活動を行います。ユニセフとは、世界の子どもたちのために活動する国際連合の中の一つの機関で、子どもの権利を守り、最も困難な状況にある子どもたちが保護を受けられるように活動しています。戦後間もない日本でも、多くの子どもたちが支援を受けました。ユニセフのマークは、平和のしるしであるオリーブの葉に囲まれた地球の上で、子どもが高く抱き上げられており、世界中の子ども達の健やかな成長と、より良い世界を作る力になってほしいという願いが込められています。

今回の募金活動では、5000円の寄付で緊急医薬品キット1箱、1万円で生徒40人分と先生1人分の学用品、3万円では毛布57枚を支援することが出来ます。

今、助けを求めている人が、もし自分の身近な人だったら…。自分にできることで協力しましょう。募金活動の期間は6月27日（月）～30日（木）です。ご協力よろしくお願いします。

（生徒会副会長）

Take Action

生徒総会では、生徒会規約第30条の「各学級、総務1名・副総務1名（男女各1名）を選出する」という項目を「各学級、総務1名・副総務1名を選出する」と改正しました。その理由には、男女の区別をなくすジェンダーレスの考え方や男女に対するイメージの押し付けをなくそうとするジェンダーフリーの考え方、そして多様な性への理解を深めるといった社会の動きを私たちの生徒会活動にも取り入れていこうと考えたからです。

日本は、男性の育休取得率、企業の女性役員比率、国会議員の女性比率が低いことが指摘されていて、世界男女平等ランキングにおいて世界153か国中120位と先進国の中でも最低順位です。経済、教育、健康、政治の項目のうち世界平均と差が開いているのは、経済（管理職の男女比など）と政治（国会議員の男女比など）です。一方、12年連続で1位のアイスランドは、これまでに3人の女性の大統領が就任しています。

この世界男女平等ランキングを見て、様々なことを調べ、私は性別にとらわれることなく何事にも挑戦するべきだと思いました。皆さんも自信をもっていないことにも挑戦してみると今まで気づかなかった新たな自分の才能に出会えるかもしれません。武岡中学校の全校生徒が活躍できる学校を目指して活動していこうと思います。

（生徒会長）